

若い世代(22~25歳)の人50人に聞きました!
国民年金保険料に関する生のご意見

社会保険労務士
原 令子

口座振替・クレジット納付推進のための工夫

納付の特典

- ・特定期間(1年・3年・5年)滞りなく納めた場合に特典を付与。
- ・1年間納めた方には抽選でキャッシュバック。
- ・納付者には、納付者カードを作成、配布し、公共施設、交通機関などで優遇措置
- ・JRの料金が割引になる。

- ・1年以上納付した方など、一定期間納付した方を対象にポイント等の特典付与。
- ・国民年金のポイントカードを作成し、払込み毎にポイントを付与。
貯まったポイントは景品と交換できる。
- ・払い込んだ人にポイントを付与。ポイントが貯まると保険料が1回分免除。
- ・払込みポイント制(電子マネー・マイレージ等に還元できるようにする)
- ・現金納付以外に、ポイントでの支払い(クレジットポイント等)などを可能にし、納付を推奨する。

- ・毎年、金券または粗品プレゼント
- ・払込み金の一部で宝くじをする。
- ・払込みに応じて、ボーナスがもらえる。
- ・払込み途中で健康祝金のようなお金がもらえる(積立てることもできるなど)。

- ・国民保険料の口座引き落とし先限定、定期預金or積金の店頭表示金利上乘せ。

- ・1回あたりの保険料を引き上げるかわりに、一定期間ごとに多く払った分が戻ってくるようにする(お得感)
 - 例) 15,040円⇒17,540円(+2500円)にする。
 - その上で、2年毎に6万円(2500円×12カ月×2年)が戻ってくる。
 - 各回の負担は増えるが戻ってくるお金で旅行や生活費に充てることができる。

- ・納付者は、年に一度、休日を取って厚生労働大臣に直訴できる。

年金教育・広報

- ・義務教育期間に「年金」について学習する(年金の授業をうける)
- ・年金の知識を付けるため、義務教育中に学習する。
- ・制度自体の教育を学校でしっかり行い、払うことが当然であると理解してもらう
- ・払わなくてはならないことを知らない人も多数いるので、払わなくてはならないことや理由を認知してもらう。
- ・若年者は「払い込んでも受け取れず損をする」と認識している人がいるので、年金支給の見通し等をもっと説明すべきだと思う。
- ・年金を払うことで将来的なメリット、ビジョンが漠然として見えてこない。
有効に使われているのか疑問。透明性を持たせてほしい。
明確な保障を提示することが必要ではないか。
- ・若年者が国民年金をなぜ払わないのかを考えると、払っても将来ちゃんと貰えるのか不安という理由があると思う。
- ・将来年金がもらえないかもという不安解消⇒受給保障
- ・渉外活動において「障害年金」や「遺族年金」の知名度の低さを感じる。
「年金は保険料を納め、60もしくは65歳になって増えて戻ってくるもの」という認識しかない人が意外と多い。年金制度は安全だとアピールするだけでなく、万一の場合の保障もあることをアピールするべきである。

- ・年金を納めるメリット(障害年金など)の説明
- ・年金制度の破綻がないことをアピールする。
- ・会社員になったら、加入することをアピールする。
- ・年金についてネガティブな報道等が多すぎる。
- ・テレビ等で若者に人気のタレントなどを起用し年金振込の宣伝や、どれ程お得なのかをアピールする。
- ・宣伝に有名人を起用する。
- ・CMや雑誌で「掛けた金額より得すること」を紹介する。

徴収の方法

- ・携帯電話料金に自動的に加算して徴収する。
- ・携帯電話料金に組み入れる。
- ・国民健康保険と抱き合わせ。
- ・国保、住民税、国民年金を一括徴収する。
- ・住民税等に上乘せする方法に変更する。
- ・保険料を一律ではなく、所得等に応じて変える。
- ・1年分全納の割引率を上げる。
- ・イオンなどの大型商業施設内で払い込みできる窓口をもうける。

財政方式

- ・年金を積み立て方式にする。
- ・賦課から積立型に変える。
- ・国民年金集金レディを雇う。
- ・年金を学費に入れてしまう。
- ・一定期間未払いの人へ通達を出す。
- ・払わなかった時のデメリットを具体的な数値を交えて周知徹底する。

その他

- ・ペナルティを大きくする。
(未納月数に比例した減額ではなく、もっと大きな減額)
- ・ペナルティの採用
(例えば、金融機関より借入時の審査に影響する等)